

川久保 賜紀 (ヴァイオリン)



(C) Yuji Hon

2002年チャイコフスキー国際コンクール最高位入賞(1位なしの2位)。2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝。2004年、出光音楽賞を受賞。エヴリー・フィッシャー賞受賞。5歳の時にヴァイオリンを始める。川崎雅夫、Z.ブロン各氏に師事。主要な北米オーケストラと共演し、幼少時より豊富なステージ経験を積む。ラヴィニア音楽祭では、芸術監督エッシェンパツハと共演。日本へは97年、チョン・ミョンフン指揮アジア・フィルのソリストとして初来日以来、定期的に来日し、日本の主要オーケストラと共演を重ねる他、

インバル指揮ベルリン響、プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管などの日本公演のソリストに迎えられ、高度な技術と作品の品位を尊ぶ深い音楽性に高い評価を得ている。

2010年、ドイツ国内10都市において、ヴィヴァルディ：四季・コンサートツアーを成功させる。最新CDは「ライブ・イン・ワシントン/エイベックス・クラシックス」。使用楽器は、1779年製ジョヴァンニ・パティスタ・グアダニーニ (S&R財団貸与)。ベルリン在住。